

札幌市コンベンション誘致促進助成金について

1 助成対象コンベンション

- 1) 開催地が未決定であること。
- 2) 国際的な会議にあっては、参加者総数が 300 人以上で、海外の参加者が 50 人以上。
または、国際会議協会（ICCA）統計の国際会議選定基準を満たしているもの。
- 3) 全国的な会議にあっては、参加者総数が 1,000 人以上で、道外の参加者が 50%以上。

2 助成金額

- 1) 主催者が負担する開催経費（飲食関係費は除く）の 20%以内で、最大 1,000 万円。
※ 札幌市コンベンションシャトルバス助成金の交付を受けた場合には、交付額と同額を開催経費から除きます。
- 2) 助成金の支払いは会議終了後。
※ 収支決算が黒字の場合はその相当額を助成金額から減額します。

3 手続きについて

- 1) 誘致する会議の開催予定日の 2 年前までに「仮申請書」を提出していただきます。
- 2) 助成金審査会の結果にもとづき「仮交付決定通知書」を送付します。
- 3) 会議開催予定日の 3 か月前までに「本申請書」を提出していただきます。
- 4) 助成金審査会の結果にもとづき「交付決定通知書」を送付します。
- 5) 会議終了後 2 か月以内に「実績報告書」を提出していただきます。
- 6) 「助成金確定通知書」を送付します。
- 7) 「助成金請求書」にもとづき、銀行振り込み*で助成金をお支払いします。
*日本国内の金融機関の口座でお願いしております。

4 申請に必要な書類

- 1) 申請書（様式あり）
- 2) 事業計画書
- 3) 収支予算書（助成申請額を収入の部に入れる）
- 4) その他関係資料

5 事業計画書の記載内容について

会議の概要（名称・日程・開催場所等）に加え、過去の開催状況や札幌以外の開催候補地と開催地決定までの流れ、会議に付随し実施を検討しているプログラム（同伴者向けプログラム、テクニカルツアー、市内企業とのビジネスマッチング等）などを記載してください。

※ 詳細については、別紙「事業計画書について」をご覧ください。

【国際会議協会（ICCA）統計の国際会議選定基準】

- ①国際機関・国際団体（各国支部を含む）または国家機関・国内団体が主催するもの。
- ②参加者総数が 50 名以上であるもの。
- ③定期的で開催されているもの。
- ④3 か国以上での会議持ち回りがあるもの。

札幌市コンベンション誘致促進助成金
事業計画書について

既存の事業計画書等に下記内容を加えていただき、作成をお願いいたします。

◆会議の名称

◆開催年月日 20〇〇年〇〇月〇〇日（〇）～ 〇〇月〇〇日（〇） 〇〇日間

◆開催場所（札幌市内で会場として検討している施設名）※ 未定の場合は、その旨記載してください。

◆総参加者数 〇〇〇〇人（うち国外参加者数〇〇〇〇人、道外参加者の割合〇〇%）

◆国外参加者の国名（判明している範囲で結構です。）

◆助成金申請団体名 及び 代表者氏名

◆会議の概要

- ・助成金審査員がこの会議を理解できる解説を含めた会議の目的・概要など
- ・開催予定プログラムなど
- ・会議運営会社名（業務委託されている場合、記載してください。）

◆関連プログラム（予定されていれば記載してください。）

- ・企業展示に関すること（札幌市内の企業等の参加の有無やビジネスマッチング等の機会の有無など）
- ・当該会議の分野に関する視察（テクニカルツアー）の開催に関すること
- ・当該会議の開催にあわせた CSR 活動や環境配慮プログラムの開催に関すること
- ・エクスカーションや同伴者を対象としたプログラムなどに関すること
- ・市民向けの講演会・セミナーや出前授業の開催に関すること

◆札幌以外の開催候補地（国・都市名）および開催地の決定時期ならびに決定までの流れ

◆この会議の過去 5 回の開催履歴（開催年月、開催都市名、おおよその総参加者数）

◆その他の情報について

- ・申請者が関わる会議で、現在札幌を開催候補地として検討している会議情報について
- ・一定の参加者（発展途上国からの参加者や若手研究者など）に対する参加登録費や旅費の補助